

道徳便り



金沢錦丘中学校

令和4年11月11日(金)

愛校心について考えました

10月は学校説明会、母校訪問、企業訪問、修学旅行など様々な行事がありました。また、11月1日は錦丘中学校の創立記念日でした。外に出て学ぶ機会がたくさんあり、学校としての節目となる時期でした。この時期を良い機会ととらえ、教材だけでなく学校パンフレットやホームページを活用し、今一度自分たちが通う錦丘中学校のよさや、さらに魅力ある学校にするために何に努力していきたいかについて考え、話し合いました。



☆3年「お別れ会」☆

主人公の「僕」は友達との付き合いで剣道部に入部し、なんとか三年間は部活動を続けられたものの、意欲的に活動に取り組んできたとは言いがたかった。しかし、卒業式の日、お別れ会で他の部員の部活に対する思いや陰ながらの努力を知り、「自分はできる限りのことをした、と自信をもって言い切れるだろうか」とこれまでの自分を振り返る。そして高校生になった「僕」は、後輩のために自分にできる限りのことをしようと行動し始める。

中高6年間の錦ライフを考え、クラスや学校のために、後輩に伝えていきたいことは何ですか？

◇生徒の感想より(3年)



錦丘中学校は、キャリア教育が充実しています。それに、高校受験もないので、中学生のうちから、大学、さらに先の将来を見すえた行動ができます。中学3年間を通じて「自分年表」を書いていきますが、私は1年生のとき、書き始めてすぐに壁にぶち当たりました。細かく考えていくうちに、現実の厳しさに直面し、迷ってはかりの時期が続きました。でも、キャリア講演会など様々なキャリア教育を受けるにつれて、いろいろな仕事について知ったり、自分自身を見つめたりすることができ、前向きな気持ちでいることができています。今、私達が他の学校の人達より早く将来を考えられるということは、それだけ可能性が広がるということです。皆さんも、自分自身を見つめて、将来についてよく考えてほしいと思います。(3A生徒)

僕は今、3年生になって必死で勉強しています。1・2年生の頃、まったく勉強しなかったせいで、勉強面で色々苦労しています。3年の勉強内容を予習・復習しながら、1・2年生の勉強内容を復習しています。3年生の勉強内容は半分が1・2年生で習ったことの発展なので、1・2年生のときしっかり勉強しないと本当に辛いです。今は部活を引退し、1日5時間勉強しています。土日は10時間勉強しています。1・2年生の時、勉強をしっかりしなかったせいで、今こんなにも苦労しているので、入学してもしっかり勉強してください。(3B生徒)

錦丘中学校の学校生活は、中高一貫校ならではのたくさんの楽しい行事やユニークな仲間により、いつも充実しています。行事は楽しいだけでなく、それを通して学んだことがあったり、成長することができたりします。錦丘中学校には、違う小学校出身の人がたくさんいます。自分と考え方が全く違う人もいます。独特な個性をもっている人もいます。そのため、衝突してしまうこともあります。それでも、「違うこと」の素晴らしさを知ることができますし、知らなかった「新しいこと」に出会うことができます。そうした一つ一つの経験が将来の選択肢や自分自身の視野を広げてくれます。違う中学校に行っていたら知ることがなかったと思うと、すごく価値のあるものだと感じています。(3C生徒)

☆2年「ハイタッチがくれたもの」☆

生徒会長を務める主人公の裕司は、いじめのない学校づくりのために「ハイタッチの日」を生徒会で提案しますが、委員会のメンバーから賛成を得られず、提案は保留となってしまいました。暗い気持ちのまま次の土曜日、所属する部活動の練習試合に参加した裕司は、自分がうまくプレーできない時もチーム全員がハイタッチで励まし喜び合う経験をし、再び「ハイタッチの日」を提案しようと決意します。

これから学校の中心になるにあたり、学校の魅力をもっと高めるためにどうすればよいか。
また、自分が努力したいことは何か。

◇生徒の感想より(2年)

金沢錦丘中学校の最大の魅力は中高一貫校であるということです。6年間を見通した学習ができるため、中学生のうちから大学受験について意識することによって、この学校の魅力を生かした生活ができると思います。また、同じ校舎に高校生がいることによって、職員室の前などで一生懸命勉強している姿をよく見かけます。そんな姿を見て普段から良い刺激を受けることができます。私は今目指している大学、そして「なりたい自分」を錦丘に来て見つけることができたので、そんな自分になれるように、この学校でさまざまなことを経験して学び、夢を叶えたいです。(2A生徒)



錦丘中学校の魅力は中高6年間で「最高の仲間と最高の自分を見つけられる」ことです。錦丘中学校では総合の時間に自分年表というものを作ります。この年表は自分がこれからどんな自分になりたいか最近の目標から10年後、20年後の大人になってからの目標までを考えるものです。つまり、中学から自分の未来を想像し、行動できるのです。また生徒全員とても優しいということも魅力の一つです。一人ひとりが優しく個性豊かで学校生活がとても楽しいです。錦丘中学校でしかできない行事、授業がたくさんあります。みなさんもぜひ錦丘中学校で充実した6年間を過ごしてみませんか。(2B生徒)

私は、この学校がよりよくなっていくために、錦丘中学校でできる学びを生かしてさまざまなことに取り組みたいです。この学校では6年間で大学へつながっていく、継続的な教育を受けることができます。しかしそれだけではなく、ボランティア活動などがたくさん行われていて、それが主体性をもつことにつながっていると思います。これを生かして、挨拶運動や行事に積極的に参加していけば良いと考えます。私は、この学校で教えてもらった力を次は学校のために役立てていけるように頑張りたいです。そして、よい学校づくりに貢献したいです。(2C生徒)

☆1年「花いっぱいプロジェクト」

「花の学校」として、地域から親しまれていた学校が閉校を迎える。12年連続して最優秀賞を受賞している「石川県花いっぱいコンクール」へかける思いは特別である。そんな中、事件が起こり、花壇が壊れ、言い合いが始まった。しかし校務士が黙々と花壇を直していく姿をみた生徒達は、翌朝、すすんで校務士の真平さんを手伝うようになる。13連覇を達成し、自分たちが最後のバトンをつなぐことができた満足感にあふれた。

錦丘中学校の魅力をもっと高めるために自分が努力したいことは何ですか？

◇生徒の感想より(1年)

誰が見ても、きれいだなと思える学校にしていけるように掃除をしっかりとこなして、清掃ボランティアなどにも参加していきたいです。そして、錦丘中学校はコミュニケーションを大切にしている学校なので、あいさつ運動やいろいろな人と話すなど、「自分から行動する」の精神でボランティアや、いろいろな人とのかわりをもっていきたいです。中高一貫校だからこそある行事は錦丘中学校だからこそその行事なので、高校生との交流で学んだことをこれからの学校生活に生かしていこうと思います。さらに、学校だけでなく、バスの中や学校外でも周りの人に配慮した行動を心がけていきたいと思っています。(1C生徒)

非常に友好的で、クラスや学年に関係なく、だれとでも親しく接することができるのが、この学校の良いところだと思う。そのため、その友好的な部分をより伸ばしていくために、クラスや学年を超えたコミュニケーションができるようなイベントなどに参加していきたい。また、授業に真面目に取り組む、部活に全力で打ちこむ、他にはない特別な授業があるなど、錦丘中学校にはとても良いところがたくさんある。それらを受け継ぐために、行事やイベントを全力で楽しみ、授業や家庭学習を真剣にして、部活を本気ですることが大事だと思った。(1B生徒)

僕はこの錦丘中学校を「居心地の良い」学校にしたいです。そのためには、2年生、3年生の1年生への接し方を見習うことや、運動会や、合唱コンクール、球技大会などで発揮されるチームワークを大事にすることが大切だと思いました。そして、何かしてもらったら「ありがとう」、迷惑をかけたしまったら、「ごめん」としっかり伝えることも大事だと思っています。僕自身もできていないことはあるので、それを意識して僕も錦中生の一人として「居心地の良い」学校を作っていきたいと思いました。(1A生徒)

